

氏名

もろとみ たかひこ
諸富 孝彦

所属	九州歯科大学歯学部歯学科口腔機能学講座口腔保存治療学分野		
職名	准教授		
最終学歴	九州歯科大学大学院歯学研究科	学位	博士（歯学）

専 門 分 野		
教 育 実 績	担当講座名称	単位数 講義時間数 実習時間数 学科・院の別
	歯の治療学（Ⅰ、Ⅱ）	単位 14.0 時間 54.0 時間 歯学科
	口腔顎顔面画像解剖学概論	単位 2.0 時間 時間 歯学科
	総合講義（Ⅰ、Ⅱ）	単位 6.0 時間 時間 歯学科・口腔保健学科
	臨床実習（Ⅰ、Ⅱ）	単位 時間 通年 時間 歯学科・口腔保健学科
	口腔治療リハビリテーション系歯科医学	単位 6.0 時間 時間 口腔保健学科
大学運営における主な 役職履歴（過去5年間）	3年次、4年次、6年次生学年副主任、医療事故予防対策部会委員、リスクマネジメント部会委員、OSCE運営部副部長、CBTブラッシュアップ委員、保存治療科外来医長、保存治療科代表指導歯科医	
研 究 分 野	歯科保存学	
研究課題	課題名	<ul style="list-style-type: none"> ・象牙質-歯髄複合体再生療法確立のための新規スキャホールド材および象牙質補填材の開発 ・新規成体活性ガラス配合根管用シーラーの生体適合性 ・新規生物学的覆髄剤の開発 ・効果的な臨床基礎歯科医学教育教授法の検討
	キーワード (5つまで)	象牙質-歯髄複合体、創傷治癒、再生医療、象牙芽細胞、覆髄
	共同研究等の 実績	GF-2含浸ゼラチンハイドロゲルを用いた象牙質-歯髄複合体再生療法の可能性（京都大学）
研 究 業 績 (著書・発表論文等) (最新5編)	Morotomi T, Washio A, Kitamura C: Current and future options for dental pulp therapy. Jpn Dent Sci Rev. 55(1): 5-11, 2019.	
	Hanada K, Morotomi T, Washio A, Yada N, Matsuo K, Teshima H, Yokota K, Kitamura C: In vitro and in vivo effects of a novel bioactive glass-based cement used as a direct pulp capping agent. J Biomed Mater Res B Appl Biomater. 107(1): 161-168, 2019.	
	Washio A, Morotomi T, Yoshii S, Kitamura C: Bioactive glass-based endodontic sealer as a promising root canal filling material without semisolid core materials. Materials. 12(23), doi: 10.3390/ma12233967, 2019.	
	諸富孝彦, 鷲尾絢子, 吉居慎二, 宮下桂子, 藤元政考, 北村知昭: 臨床基礎教育におけるシナリオベース体験実習による体験先導型学習の効果. 日歯教誌. 35(2): 49-57, 2019.	
	Morotomi T, Hirata-Tsuchiya S, Washio A, Kitamura C: Effects of 4-META/MMA-TBB Resin at Different Curing Stages on Osteoblasts and Gingival Epithelial Cells. J Adhes Dent. 18(2): 111-118, 2016.	
産 学 官 連 携 実 績 (主 要 3 件)	新規根管充填用シーラーおよび覆髄材の開発	
	4-META/MMA-TBBレジン製の創傷被覆材としての可能性	
	電動歯ブラシのブランク除去効果	
産 学 官 連 携 可 能 ・ 希 望 分 野	象牙質-歯髄複合体再生療法の開発 新規歯髄保護法の開発	
取得した実用新案特許等 (主 要 5 件)		
所 属 学 会 (主 要 5 件)	日本歯科保存学会、日本歯内療法学会、日本歯科医学教育学会、九州歯科学会 <input type="checkbox"/>	